

2016年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦募集

日本気象学会は、研究を本務としない方々が行う調査や研究を奨励するために、「日本気象学会奨励金」制度を1970年に設けました。その後、実践的な気象教育を進めている方々にも奨励するように選考範囲を拡げました。さらに1998年には、「奨励金」を表彰に重点を移した「奨励賞」と改め、毎年3件程度の表彰をしております。また、最近では、狭義の気象教育にとどまらず、気象に関する普及活動についても奨励賞選考の際に考慮されております。

奨励賞候補者推薦委員会は、受賞者選定規程に基づいて候補者を理事会に推薦します。幅広く候補者を募りますので（候補者はグループでもかまいません。また候補者は日本気象学会員である必要はありません）、下記の要領によって2016年度受賞候補者をご推薦下さい。自薦も歓迎します。なお、日本地学教育学会、日本理科教育学会および日本気象予報士会にも推薦募集案内通知の依頼をしております。

記

締切

推薦書（メール）：2016年2月5日（金）

添付資料（郵送）：2016年2月12日（金）

推薦書の提出

推薦書（自薦を含む）の様式は「日本気象学会ホームページ（<http://www.metsoc.jp>）→気象学会の表彰→2016年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦募集」よりダウンロードしてください。

推薦書は、気象学会事務局（jmetsoc@blue.ocn.ne.jp）へメール添付でお送りください。

添付資料の提出

奨励賞の対象となる活動の参考として添付資料がある場合には、重要なものから3点程度を日本気象学会事務局へお送りください。

送付先：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内 日本気象学会事務局気付

奨励賞候補者推薦委員会

募集概要

1. 気象学・気象技術に関するテーマについての研究・調査、初等・中等教育における気象教育の実践、気象学に関する普及活動の実践等を受賞の対象と

します。

2. 気象学・気象技術に関する調査・研究の分野では、研究を本務としないことが条件です。なお、候補者は日本気象学会員である必要はありません。
3. 2016年度の奨励賞贈呈は、秋季大会（名古屋市、10月26日（水）～28日（金）の予定）で行います。
4. 奨励賞受賞者選定規定の詳細については日本気象学会ホームページをご覧ください。

【参考】2012～2015年度の「奨励賞」受賞者と研究題目

- (15) 實本正樹（大気現象の写真・動画を活用した気象学の普及啓発と高等学校気象教育への貢献）
サニーエンジェルズ（母親を対象とした気象・防災知識普及および科学リテラシー向上への貢献）

- (14) 永井秀行（「リアルタイム気象情報表示システム」の構築と気象情報の利活用を通じた気象教育の継続）

小山芳太（近畿地方に局地的大雨をもたらす降水システムの形成及び維持機構に関する解析的研究）

- (13) 中村一樹（体験に基づいた気象災害の防災・減災、環境保全意識向上のための活動）

- (12) 足立 誠（気象庁非静力学モデルと3次元変分法データ同化を用いた島根県で発生した梅雨期豪雨の再現実験）

多治見の気温をはかる会（多治見の盛夏期における異常高温の出現特性に関する調査研究）

なお、奨励賞受賞者の詳細につきましては、1999年度以前の奨励金の受賞者を含め、「日本気象学会ホームページ（<http://www.metsoc.jp>）→気象学会の表彰→奨励賞」でご覧になることができます。

日本気象学会奨励賞候補者推薦委員会

三上正男（委員長）、岩田 修、

佐々木幸博、鈴木 修、弟子丸卓也、

永井 章、荻澤 浩、松本逸平、

室井ちあし